鳥信 WEB 版　2023 年 2・3 月号

2022 年 12 月 4 日～2023 年 1 月 8 日の鳥信

＜探鳥会の記録から＞

＊12 月 4 日　定例探鳥会・花立山◇観察鳥種：32 種+外来種 1 種（ドバト）　髙田千代

当日は、早朝やや小雨がちの天気のせいか、少ない人数での探鳥会でした。静かな公園は、池のほとりでアコーディオンの練習をする女性の姿があり、いい雰囲気の BGM を聞きながらたくさんのカモを眺めていました。（気分はパリの公園(?)　池のそばのイチョウの木にツグミの集団、山の中の道をしばらく行くと、ヤマガラが木のてっぺんにとまってました。少し離れた小道では、クロジがチョロチョロと言ったり来たりしていました。アオジは、寒いせいか丸々とふくれて、可愛さ満点でした。カワラヒワ、エナガも集団で飛び交い、エナガの群れの中にリュウキュウサンショウクイもいました。猛禽類ではハイタカ、チョウゲンボウが見られ、バラエティーに富んだ探鳥会となりました。

▲リュウキュウサンショウクイ　撮影：石橋(信)

＊12 月 11 日　定例探鳥会・甘木山公園◇観察鳥種：20 種　中嶋秀利

甘木山ハイツ駐車場にてハシブトガラス、ヒヨドリ、シロハラ等のけたたましい歓迎の鳴き声を受け探鳥スタートしました。定番の鳶ヶ浦堤へ足を進める途中テニスコート場横のムクノキの梢に止まるシメ 3 羽の鳥影を N さんがフイルドスコープ捕らえ観察するや否すぐさまカワラヒワと入れ替わる。1 年前開催時は湯牟田鳶ヶ浦堤ではトモエガモ、オシドリなどの大牟田では珍しいカモ類 9 種が確認できましたが今回はカルガモを確認出来ただけで鳥種数が伸びず心配しましたがミヤマホオジロ、ルリビタキなども一瞬でしたが姿を見せてくれて終わってみれば何とか 20 種の野鳥の姿を観察することができました。

▲ミヤマホオジロ♂　撮影：石橋(信)

▲ルリビタキ♂　撮影：中嶋

＊12 月 18 日　企画探鳥会・横島干拓◇観察鳥種：61 種（＋３種）　江口浩喜

朝起きると柳川は一面雪景色で、吹雪いていました。探鳥会開催が心配になりましたが、とりあえず、横島干拓に向かいました。大牟田に入ると雪もなく、探鳥会ができそうで一安心、参加者の道中が心配でしたが…。気温は 1℃、風も強く強烈な寒さの中での探鳥会となりました。今年も熊本県支部の M さんにガイドをしていただきました。今冬は 150 羽を超えるツルや、ハイイロチュウヒ♂、コミミズク、オジロトウネン等が確認されているとの説明を受けました。最初に皆でケリを観察、その後は地元の農家さんの農作業に邪魔にならないようそれぞれで探鳥し、お昼前に再度集合し、鳥合せを行いました。目玉のハイイロチュウヒ♂は一部の方しか見れませんでした。また、残念なことに、コミミズクがカラスの餌食になり、食べられた死体が残っていました。それでも全部で 61 種類が観察されました。さすが横島干拓です。

探鳥会の後、個人的に残って探鳥を続け、探鳥会で確認されなかった、オジロトウネン、コチドリ、スズガモを観察しました。

▲コチョウゲンボウ

＊12 月 25 日　定例探鳥会・久留米城址～筑後川◇観察鳥種：32 種＋外来種２種（ドバト・ソウシチョウ）　溝田泰博

早朝は小雨模様でしたが、集合時間前に雨は止みました。河川敷駐車場に集合・出発し、まず篠山神社に行きました。その途中のお堀の上空にオオタカが現れました。かなり近い上空を飛ぶ様子を双眼鏡で観察しましたが、オオタカの特徴を鮮明に観察することが出来ました。そうするうちに１羽のハシボソガラスがオオタカにモビングを仕掛けました。その時、オオタカとハシボソガラスの大きさを確認でき、確実にオオタカと認められました。

篠山神社境内で、ビンズイは確認できませんでしたが、アトリの群れを全員でゆっくり観察することが出来ました。河川敷ではヒドリガモ、カルガモなどの常連の中にキンクロハジロとスズガモを見つけることが出来ました。この日はカンムリカイツブリが７羽確認できて満足です。

常連のトビとミサゴも現れて、今日は、オオタカを合わせて３種の猛禽類を観察しました。河川敷にいると、徐々に寒さが身に沁みてたので、早めに解散しました

＊1 月 8 日　定例探鳥会・花立山◇観察鳥種：36 種+外来種 1 種（コジュケイ）　髙田千代

令和 5 年初の探鳥会でした。早速、池のところでは水鳥オールスターが迎えてくれました。ヘラサギがズラッと 55 羽、クロツラヘラサギも 5 羽いるという嬉しい眺めです。カモ達も、ハシビロガモ、ヒドリガモ、キンクロ、ホシハジロ等大賑わいでした。きりがないので、後ろ髪を引かれつつ山道の方へ。相変わらず、メジロ、コゲラ、エナガ等の小鳥がチョロチョロ飛び回っていて安心しました。いつもは花立山のそばを猛禽類が悠々と飛んでいるのですが、この日はミサゴ・トビ・ハイタカがやや遠くに見えた位でした。一回りして再び池の所に戻るとヘラサギたちはお休みタイム。くちばしが見えにくい中、数も確認していただき無事終了しました。今年もたくさんの野鳥との出会いがありますように！

▲ヘラサギ　撮影：石橋(信)

＊1 月 15 日　定例探鳥会・濃施山公園◇観察鳥種：35 種　野田達行

今年初めての探鳥会は支部発足の当初に帰り探鳥会心得「優しい気持ち」を紹介してスタートし

ました。集合場所脇の雑木林にはエナガ、メジロ等の数種の混群が現れ公園内の留鳥達との新年のご挨拶状態です。愛宕神社ではクロジが現れご当地初記録と思われます、今福池は災害復旧工事中でしたが水が抜かれた中央部はヨシが茂りホオジロ等を期待しましたが全く姿は無く環境の変化を観るのも探鳥会の一部ではないでしょうか。うさぎ池はカルガモ等が休んでいましたが近づくと一斉に飛び去った。農耕地、川沿いは常連のサギ類水辺の鳥達待っててくれました、セキレイ 3 兄弟、ミヤマホオジロも観られ、終了してみれば 35 種出現し改めて濃施山公園の豊さに気づきました。

▲セグロセキレイ

▲アオジ

＜筑後エリア＞

＊12 月 24 日　マナヅルの渡り・筑後市　石橋(信)

昨年に続き今年筑後でマナヅルの飛翔が見られました。

曇天の午後庭の手入れをしていると 13 羽のマナヅルがＶ字形態で、雲仙方向に鳴き声を立てて、飛んで行きました。

庭仕事中のアッと言う間の出来事で、写真はダメでしたが、昨年筑後広域公園で見た時と同じく、曇天で、雲仙方向に南下しました。

天候が曇天の場合は、ツルの南下は飛翔高度が低と感じ、夜、部屋で地図を見ると、関門海峡と、雲仙との中間地点に自宅が有り、曇天の時は、気づかないだけで、もしかして南下の飛翔コースになるのかな？と、一人思いました。

＊12 月 27 日　クロツラヘラサギとヘラサギ・城山公園　冨永　誠

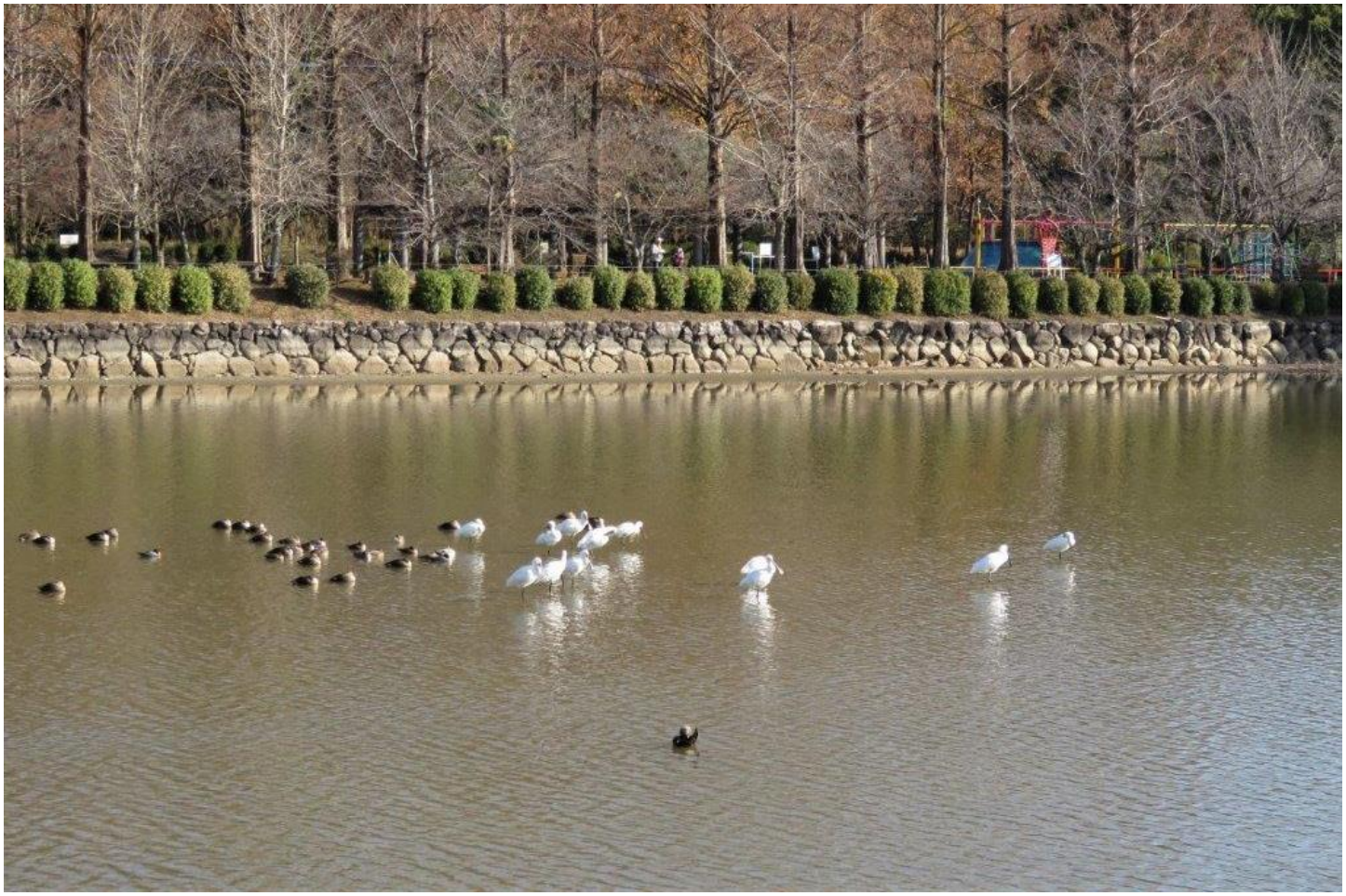
先日小郡にクロツラヘラサギの調査に行き城山公園の且田ヶ浦堤に立ち寄ったところクロツラヘラサギ３羽とヘラサギ 10 羽がボートハウスの前で餌を採っていてその後池の中央で休息にはいりました。

１月の観察会でも見られると良いですね。

▲クロツラヘラサギとヘラサギ　撮影：冨永

▲クロツラヘラサギとヘラサギ　撮影：冨永

▲クロツラヘラサギとヘラサギ　撮影：冨永



▲クロツラヘラサギとヘラサギ　撮影：冨永

＊1月1日　アオバト＊1・久留米中央公園　野田(敦)

初詣の後、中央公園を一回りしました。人出も多くいつもの鳥ばかりと思っていました。枯葉をたくさんつけた柏の木の上方に黒っぽい陰がありました。双眼鏡で見ると、白に黒の班がある下尾筒と下腹が見えました。動かずにいたので移動して顔を見ると、水色の嘴、グリーンの上半身、赤紫の肩が見えます。アオバトの雄です。この公園では7年振りに見ました。頭をかしげて私を見たので目が合いました。嬉しかったです。カメラがなくて残念。

＊1月3日　小郡市城山公園の鳥　野田(敦)

今日は林裕子さんと二人で探鳥しました。公園の小さな池は薄く氷で覆われ寒い朝でした。今までここで見たことがなかった ヘラサギとクロツラヘラサギ＊19、ミコアイサ＊♂♀、ツクシガモ＊2 が常連の鳥に混じって休んでいました。カイツブリは 10 羽以上が群れていました。カワセミも枯れ枝に止まり綺麗な姿を見せました。山手では ルリビタキの雌、ミヤマホオジロ、アオジ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、モズ等の冬鳥。クロジの気配はありましたが確認できませんでした。猛禽類はトビだけでした。

▲クロツラヘラサギとヘラサギの群れ　撮影：野田(敦)

▲ミコアイサの雄と雌　撮影：野田(敦)

＊1月３日　アリスイ＊１・小郡市松崎の池　野田(敦)

　松崎の池はほとんどカルガモでしたがハシビロガモ、コガモ、バンも少数いました。池の周囲の木にアリスイがいました。ほんの数秒間でしたが、お天気が良かったので間近ではっきり見え大感激でした。

＊1月６日　小郡市城山公園の野鳥　怡土秀子

　城山公園の池には、以前より多くのカモ類、ヘラサギ等がいました。遠くからでも、白い体が目立つミコアイサが、雌と一緒に潜水しながら、優雅に泳いでいました。ヘラサギは、最初１５羽でしたが、帰りには３７羽もいました。眠っている個体もいましたので、全部がヘラサギとは、確認できていません。内陸部にも沢山やって来るのですね。

▲水面から飛び上がるミコアイサの雄　撮影：怡土(秀)

＊1 月 8 日　クイナ＊1・久留米市荒木町車路池　溝田泰博

　荒木の車路池でカモ類を見ていたら、あし原の中からクイナが出てきました。しばらくエサを探しながら周囲を歩き回りました。久しぶりのクイナに見入ってしまいました。

＜近隣エリア＞

＊12 月 20 日　ハイイロチュウヒ＊雄 1・横島干拓(玉名市)　今村誠二

日曜日の横島干拓の探鳥会に参加しました。かなり冷えましたが、昨年のヤツガシラに引き続き今年はハイイロチュウヒの♂を見ることができました。私は♂は初めてであり、その美しさに感動しました。

▲ハイイロチュウヒの雄　撮影：今村

＜九州各地＞

＊12 月 14・15 日　トモエガモの大群・長崎県諫早干拓　怡土正孝

トモエガモ３万～４万羽が乱舞していました。

▲乱舞するトモエガモの大群　撮影：怡土

＊1月６日　トモエガモの大群・長崎県諫早干拓　怡土正孝

　夕方、トモエガモが餌場に行くため乱舞し、金属音の様な羽音を頭上に残し、一群は多良岳方面に、一群は雲仙岳方面に飛んで行きました。

怡土正孝